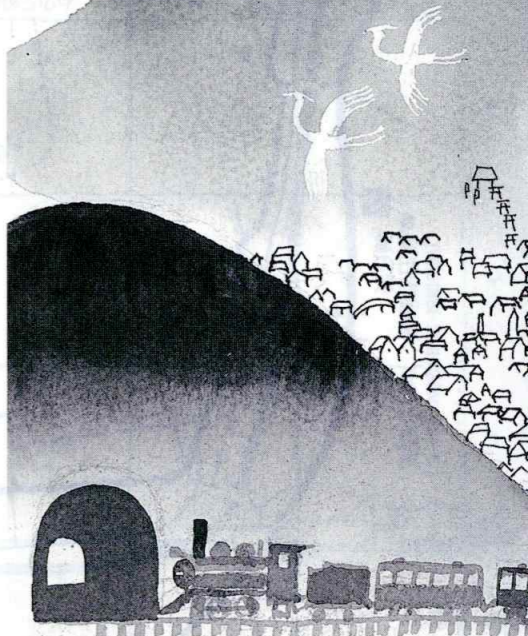


# 津和野

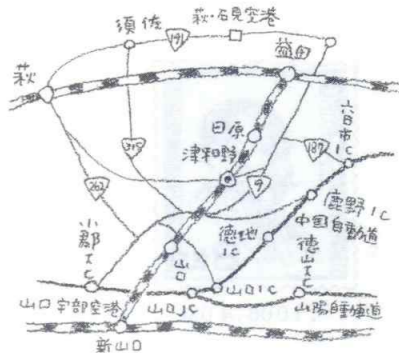
山陰の小京都



津和野町観光課 ☎(0856) 72-0652  
<http://www.town.tsuwano.lg.jp/>  
 津和野町観光協会 ☎(0856) 72-1771  
<http://www.tsuwano.ne.jp/kanko/>

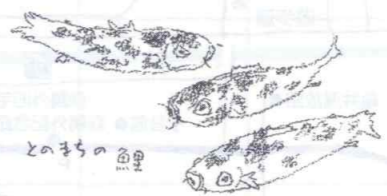
## 津和野町への交通

- バス
  - 萩から津和野まで(防長バス)..... 1時間39分
  - 広島から(東縦)津和野まで(石見バス)..... 3時間00分
  - いわみエクスプレス [夜間直通バス]
  - 大阪から津和野まで(石見、阪神バス)..... 8時間20分
  - 東京から津和野まで(石見、JRバス)..... 13時間50分
- 空港
  - 車で萩・石見空港から津和野まで..... 1時間00分
  - 車で山口宇部空港から津和野まで..... 1時間45分
- 高速道路
  - 六日市 I.C.から津和野まで..... 1時間00分
  - 小郡 I.C.から津和野まで..... 1時間10分
- 新幹線
  - 東京から新山口まで..... 4時間40分
  - 大阪から新山口まで..... 2時間02分
  - 博多から新山口まで..... 37分
- 列車
  - 特急 新山口から津和野まで..... 1時間05分
  - 特急 益田から津和野まで..... 30分
- SL「やまぐち」号運行
  - 新山口・津和野間(3月より11月の指定日)..... 2時間00分



津和野は、山あい白壁と赤瓦の家並みがつづき、西に山城の跡がみえる城下町です。汽笛は山にこだまします。どんど焼き・苗木市・鷲舞などがあり、かるた取り(百人一首)も盛んなところです。町には、たて横につながった水路があります。むかしの家も残っています。

さくら・つつじ・新緑・もみじ、山は四季おりおりに色を変えます。時雨や夕立も風情があります。秋が深まると町は霧につつまれる日が多くなります。冬の星空はきれいです。雪が降ると赤い屋根は白に変わります。狭い町です。歩いてください。津和野ことばも聞いてください。



## 森鷗外の旧宅(国指定文化財)



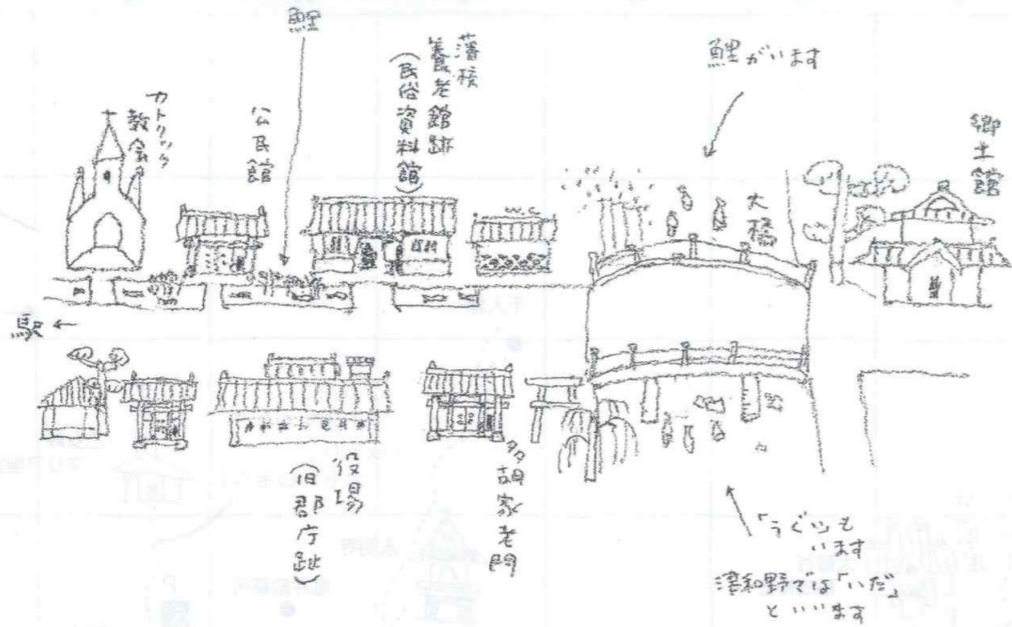
「此辺は屋敷町で、春になつても、柳も見えねば桜も見えない。内の堀の上から真赤な椿の花が見えて……」  
 —キタ・セクスアリス—

鷗外の生家のまわりの様子です。隣の森鷗外記念館もご覧ください。

これを「化学」という日本語にしたのが西周(にしあまね)です。わたし達がなにげなく使っている「哲学」や「心理学」なども先生の訳語です。



西周



これを「化学」という日本語にしたのが西周(にしあまね)です。わたし達がなにげなく使っている「哲学」や「心理学」なども先生の訳語です。

## 殿町

養老館跡や町役場・多胡家老門など、むかしの門構えとなまこ堀の家が並んでいます。カトリック教会も殿町の景色の中にとけこんでいるようです。

道沿いの掘割には、しようぶが咲き、錦鯉が群れています。西の端は大橋です。むかしに比べて川の水量が減りましたが、橋の下には鯉やうぐいが泳いでいます。

橋を渡ると、左側は郷土館です。城の絵図や西周の肖像画があります。画は「鯉」で有名な高橋由一の描いたものです。養老館は藩校でした。西周や森鷗外は幼いとき、ここで勉強しました。国学者の大国隆正は先生でした。いま民俗資料館になっています。殿町は、夏、ライトアップされ夕涼みには格好の場所です。

## やぶさめ

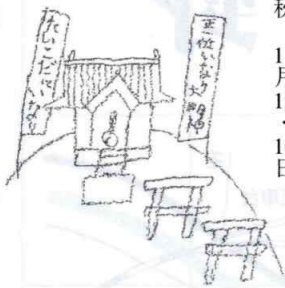
馬に乗った人が、走りながら弓に矢をつがえ、的を射る神事で、原八幡宮に奉納されます。



4月の第2日曜  
やぶさめの馬場

## 太皷谷稲成神社

お祭りの日  
 2月初旬  
 春 5月15日  
 秋 11月15・16日

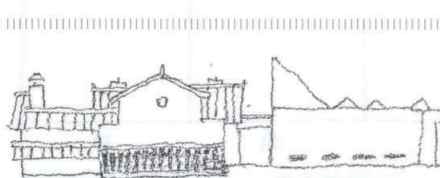


## おみやげ

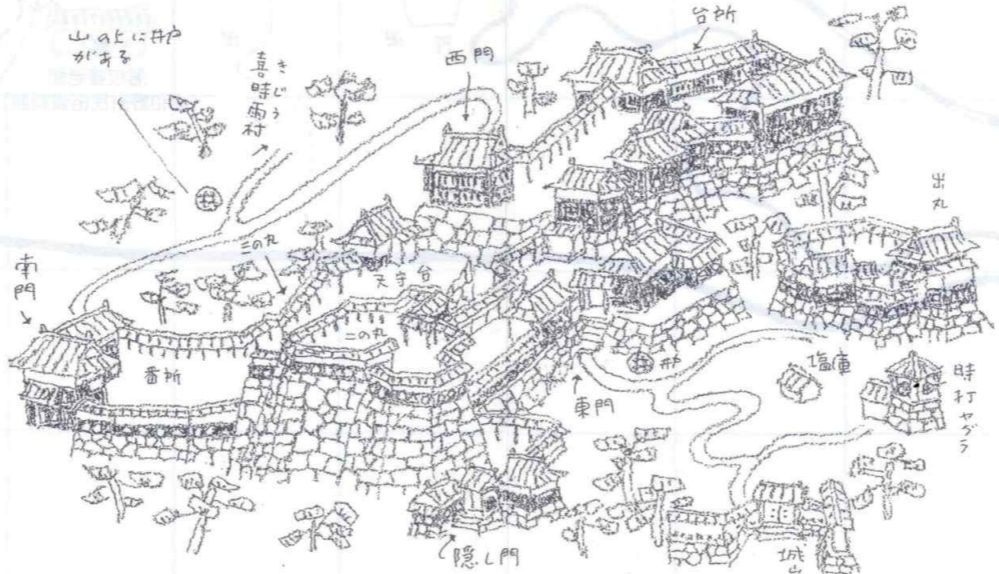


「皆頭巾で顔を隠して踊るのであるから、侍の子が沢山踊りに行く。中には男で女装したのもある。女で男装したのもある。」  
 —キタ・セクスアリス—

## 津和野おどり



道の駅  
**津和野温泉 なごみの里**  
 (温浴施設・総合交流ターミナル)  
 ラドンを多く含む療養泉で、青野山や城山が見渡せるパノラマ温泉です。地場食材のレストラン、竹細工等手工芸の体験工房もあります。



明治7年(1874)土成を解体する前にかかれた絵図(郷土館蔵)の様子

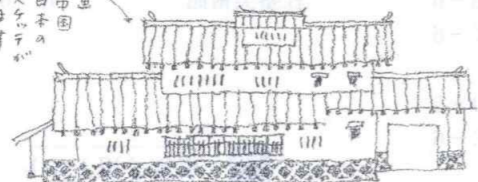
## 津和野城址(国指定文化財)

西の山の上に城の石垣が見えます。城は蒙古の襲来にそなえて吉見氏が築いたもので、日本海の方を向いています。その後、坂崎・亀井の殿様の城になりました。

リフトで山頂までいき、ケヤキやカエデの林を通りぬけると城址にでます。山城なのに上に井戸があります。城の絵図をみると台所や塩庫がかいてあります。もちろん天守閣もありましたが、大地震で崩れてしまい、銃眼のついた櫓や扉も明治維新のあと取りこわされてしまいました。城跡にたつと、正面に青野山、眼下に赤瓦の町並みが見えます。

## 安野光雅美術館

本館展示棟には安野光雅の多彩な作品があります。別館学習棟には「昔の木造教室」と四季折々の星空を眺めることができる「プラネタリウム」があります。



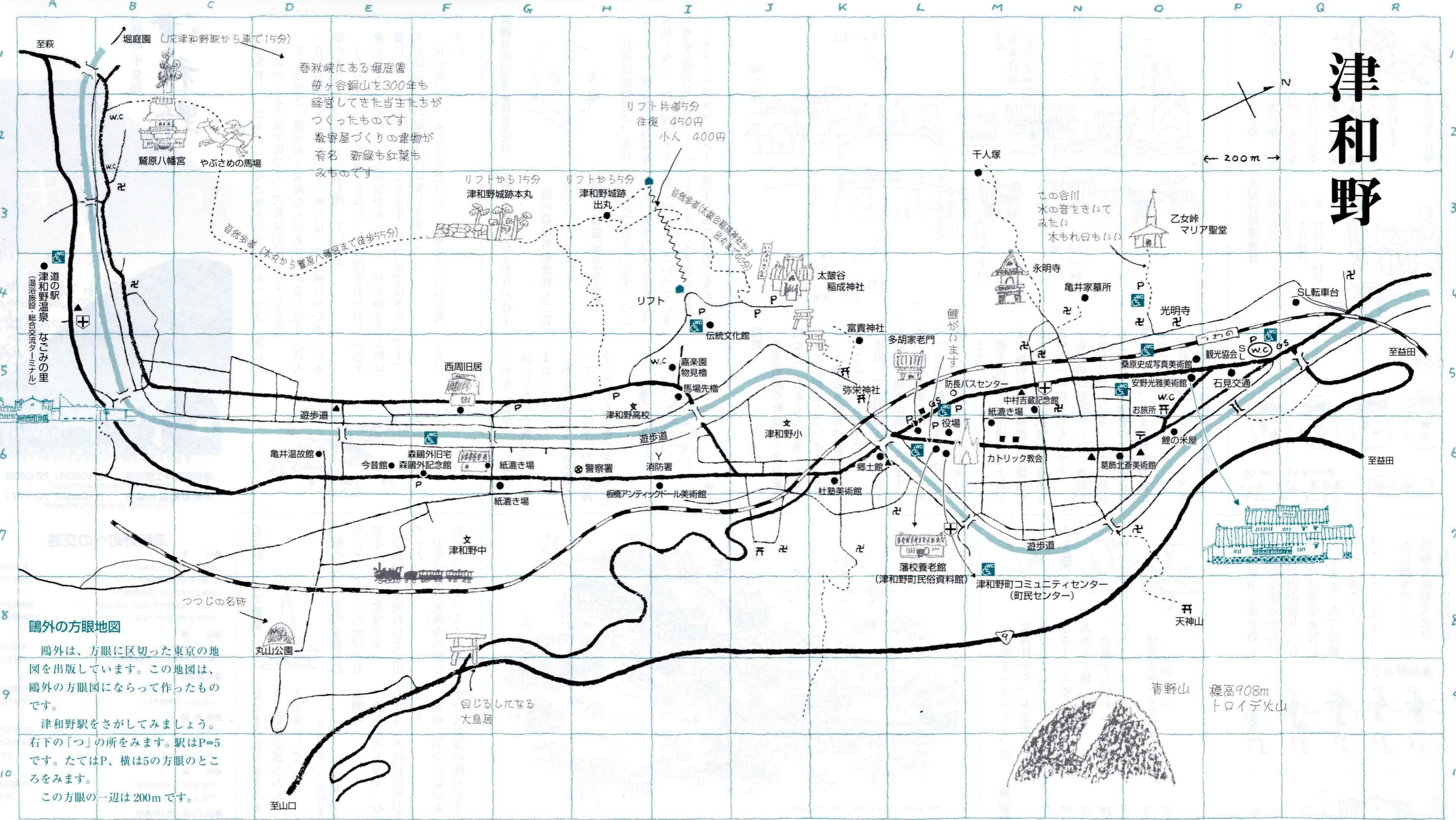
## ささぎ舞



祇園まつりのとき、弥栄神社から、お旅所まで、辻ついで「ヤーアかわささぎ」の唄と笛の音にあわせて舞います。京都から伝わった神事です。

国指定重要無形民俗文化財  
 7月20・27日

# 津和野



堀庭園 (JR津和野駅から車で15分)  
 春秋峡にある堀庭園  
 笹ヶ谷銅山を300年も  
 経営してきた当主たちが  
 つくったものです  
 数寄屋づくりの建物が  
 有名 新緑も紅葉も  
 みちのです

リフト片道5分  
 往復 450円  
 小人 400円

**鷗外の方眼地図**  
 鷗外は、方眼に区切った東京の地図を出版しています。この地図は、鷗外の方眼図にならって作ったものです。  
 津和野駅をさがしてみましょう。右下の「つ」の所をみます。駅はP=5です。たてはP、横は5の方眼のところをみます。  
 この方眼の一边は200mです。

<b>名所・史跡</b>	い 稲成神社 J-4	お 大橋 L-6	お旅所 O-5	乙女峠・マリア聖堂 O-3	か カトリック教会 M-6	亀井温故館 D-6	亀井家墓所 N-4	嘉楽園・物見櫓 I-5	せ 千人塚 M-3	た 多胡家老門 L-6	つ 津和野城跡 F-3	て 天神山(松林山天満宮) O-8	と 殿町 L-6	な なごみの里 A-4	に 西周旧居 F-5	は 馬場先櫓 I-5	ま 丸山公園 D-8	も 森鷗外旧宅 F-6	や 弥栄神社 K-5	やぶさめ馬場 B-2	よ 永明寺 M-4	わ 鷲原八幡宮 B-2	<b>博物館・美術館・資料館</b>	あ アンティックドール美術館 I-6	安野光雅美術館 O-5	か 葛飾北斎美術館 O-6	紙漉き場 F-6 M-6	き 郷土館 K-6	く 桑原史成写真美術館 O-5	こ 今昔館 E-6	て 伝統文化館 I-4	な 中村吉蔵記念館 M-5	み 民俗資料館 L-6	も 森鷗外記念館 F-6	杜塾美術館 K-6	い 石見交通 P-5	か 観光協会・観光案内所 O-5	つ 津和野駅 P-5	ほ 防長交通(バスセンター) L-5	り リフトのりば I-4	GS P-5 L-5	■銀行・信金・農協 L-5 M-6	▲くすり屋 E-5 L-6 N-6	O-6 A-4 M-5	⊕病院 A-4 L-7 M-5
--------------	------------	----------	---------	---------------	---------------	-----------	-----------	-------------	-----------	-------------	-------------	-------------------	----------	-------------	------------	------------	------------	-------------	------------	------------	-----------	-------------	--------------------	--------------------	-------------	---------------	--------------	-----------	-----------------	-----------	-------------	---------------	-------------	--------------	-----------	------------	------------------	------------	--------------------	--------------	------------	-------------------	-------------------	-------------	-----------------



Y1006.40M

